

# カキ生育情報

第 4 報  
千葉県農林水産部  
令和 5 年 8 月号

7月は中旬以降高温・乾燥が続いていますが、果実の生育は3品種ともに平年より進んでいます。枝葉が込み合っている所では枝の整理を行い、樹の内側の日当たりを良くしましょう。降雨が1週間以上ない場合はかん水を行いましょ。8月下旬～9月上旬はうどんこ病、炭疽病の防除時期となります。

## 1 令和5年7月の気象

令和5年7月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は全ての半旬で平年より高かった。月平均気温は26.8℃で、平年より1.6℃、前年より0.3℃高かった。

降水量は全ての半旬で平年より少なく、第3～第6半旬は降雨がなかった。月合計は49mmで、平年の28%、前年の25%であった。

日照時間は第1半旬で平年より少なく、他は平年より多かった。月合計は274時間で、平年の151%、前年の146%であった。

本年の関東地方の梅雨明けは7月22日で、平年より3日遅く、前年より1日早かった。

表1 令和5年7月の気象（館山測候所）

| 半旬   | 気 温 (°C) |      |      | 降水量 (mm) |     |     | 日照時間 (時間) |     |     |
|------|----------|------|------|----------|-----|-----|-----------|-----|-----|
|      | 本年       | 平年   | 前年   | 本年       | 平年  | 前年  | 本年        | 平年  | 前年  |
| 1    | 24.9     | 23.8 | 26.3 | 27       | 37  | 22  | 21        | 23  | 28  |
| 2    | 26.4     | 24.4 | 25.5 | 22       | 39  | 1   | 39        | 26  | 20  |
| 3    | 27.2     | 25.0 | 24.9 | 0        | 34  | 72  | 33        | 28  | 12  |
| 4    | 27.5     | 25.4 | 26.3 | 0        | 26  | 92  | 53        | 30  | 21  |
| 5    | 26.1     | 25.9 | 27.4 | 0        | 21  | 8   | 57        | 32  | 42  |
| 6    | 28.6     | 26.4 | 28.6 | 0        | 19  | 5   | 71        | 42  | 65  |
| 平均/計 | 26.8     | 25.2 | 26.5 | 49       | 176 | 200 | 274       | 181 | 188 |

7月数値:暖地園芸研究所の観測機の故障のため、近くにある館山測候所の値

## 2 8～9月の作業

### 1) 摘 果

「西村早生」では、8月下旬頃（着色開始期）から仕上げ摘果を行う。果頂部が凹んだ果実や不整形の果実、着色が遅いか着色ムラのある果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。

### 2) 枝管理

2次伸長枝は、8月下旬～9月上旬頃に、充実したものを除き全て摘除する。

秋雨は汚損果の発生を助長する。汚損果の発生を防ぐため、果実に重なる葉や枝は摘除し、果実の重みで地面近くに垂れ下がった側枝などは、適宜、枝支えやつり上げを行う。

### 3) かん水

夏季の高温及び過乾燥が続くと、根の生育が停止して果実肥大が抑えられ、熟期の遅れ、着色不良、糖度不足、翌年の着花量不足などが生ずるので、かん水が必要である。特に、乾きやすい園、作土の浅い園では早め、多めに行う。

#### 4) 収 穫

9月中旬頃から「西村早生」の収穫が始まる。カラーチャートを活用して適熟果の収穫に努めるとともに、果実はほんの小さな傷でも黒変しやすいので、ていねいに扱うことを心がける。また、渋果の混入を防ぐために、必ず渋果判定機による選別を行う。

#### 5) 病虫害防除

気温が下がり秋雨が始まると、うどんこ病や落葉病、炭疽病の発生が多くなる。防除適期は8月下旬～9月上旬である。

カキノヘタムシガ、フジコナカイガラムシの防除のため、9月上旬～中旬にバンド誘殺を行う。また、カキノヘタムシガの被害果を地中に埋没する。なお、7月19日発行の病虫害発生予報第4号によると、カメムシ類の発生は並となっている。今後の最新情報に注意し、カメムシ類の発生が多い場合は、8月中旬以降に防除する。

防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

### 3 樹及び果実の生育

7月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ5.79cm、6.08cm、「富有」が5.86cmであった。本年の横径は「西村早生」が平年の108%、前年の105%であった。「松本早生富有」が平年の109%、前年の111%であった。「富有」は平年の104%、前年の107%であった。

縦径は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ4.28cm、4.33cm、「富有」が4.39cmであった。本年の縦径は「西村早生」が平年の105%、前年の101%であった。「松本早生富有」が平年の107%、前年の118%であった。「富有」は平年の104%、前年の108%であった。

果形指数は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.34、1.41、「富有」が1.33であった。本年の果形指数は「富有」以外が平年より大きく、横長の傾向であった。

本年は7月中旬より高温・乾燥が続いているが、3品種ともに果実肥大は現時点で平年より進んでいる。暖地園研ではいずれの品種も今のところ目立った病虫害の発生はみられない。

表2 果実の生育（7月30日の果径）

| 品 種     | 調査地  | 横 径 (cm) |      |      | 縦 径 (cm) |      |      | 果形指数 |      |      |
|---------|------|----------|------|------|----------|------|------|------|------|------|
|         |      | 本年       | 平年   | 前年   | 本年       | 平年   | 前年   | 本年   | 平年   | 前年   |
| 西 村 早 生 | いすみ市 | 5.76     | 5.29 | 5.38 | 4.28     | 4.10 | 4.28 | 1.32 | 1.29 | 1.26 |
|         | 暖地園研 | 5.82     | 5.39 | 5.68 | 4.28     | 4.05 | 4.17 | 1.36 | 1.33 | 1.36 |
|         | 平 均  | 5.79     | 5.34 | 5.53 | 4.28     | 4.08 | 4.23 | 1.34 | 1.31 | 1.31 |
| 松本早生富有  | 市原市  | 5.78     | 5.47 | 5.38 | 3.99     | 3.98 | 3.26 | 1.45 | 1.38 | 1.65 |
|         | 暖地園研 | 6.37     | 5.66 | 5.62 | 4.66     | 4.13 | 4.06 | 1.37 | 1.37 | 1.38 |
|         | 平 均  | 6.08     | 5.57 | 5.50 | 4.33     | 4.06 | 3.66 | 1.41 | 1.38 | 1.52 |
| 富 有     | 暖地園研 | 5.86     | 5.62 | 5.47 | 4.39     | 4.22 | 4.05 | 1.33 | 1.33 | 1.35 |

果形指数：横径/縦径

平年：暖地園研は1990年～2022年、いすみ市は1998年～2022年、市原市は1999年～2022年の平均

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。